

コミュニティ・スクール に対する学校の考え



コミュニティ・スクールとは

■コミュニティ・スクール

= 学校運営協議会制度を持つ学校

■H16の法律改正により可能となった新しい学校のスタイル

- 地域の公立学校の運営に住民の声を活かす仕組み
- 導入するかどうかは市町村教育委員会が決める

校長の後ろ盾になってもらう

- 校長が策定する学校経営方針を承認してもらう(3月中に承認を得て、新年度を迎える)
- 大きな方針転換を行う際に、意見をもらう

[例] 修学旅行

目的・ねらい・実施の方向性など

※ 具体的な行き先は保護者と協議

地域の意見を学校に伝えてもらう

- 協議会の場で意見をもらったり、アンケートや意見交換会等により様々な立場からの意見を吸い上げてもらう
- 学校関係者評価を行ってもらう

[例] 小中一貫校のメリットをさらに活かす

小6での一部教科担任制の実施

学校行事の小中合同実施(卒業式)

土曜日の活用

地域で子どもを育てる教育環境作りに貢献してもらおう

■大川村の未来を支える人材育成に協力してもらおう(体験活動, 交流活動)

■地域を元気にするために学校ができることを考えてもらう

[例] マラソン大会

コース変更(大川村中心部で実施)

試走を含め、安全確保ボランティアの協力

23

大川小・中学校運営協議会について



24